岐阜大学機関リポジトリ
Gifu University Institutional Repository

自家不和合性関連および細胞質内遺伝子群の多様性から見たバラ科植物の分子系統

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2008-03-12
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 松本, 省吾
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/260

はしがき

バラ科植物に属するバラ、リンゴはともに古くから栽培されてきており、自然及び人為交配種が非常に多く存在することから、その系譜は複雑である。これまでの形態的、生理的、発生学的、生態学的特徴、すなわち遺伝子の表現型であるphenotypeに基づく分類により、例えば、バラ属は4亜属に分類されており、その中の1つバラ亜属は9節に分けられている。しかしながら、9節の中のCaniane節に属している野生種間の系統関係、あるいは他の節の集団との類縁関係はほとんど不明である。また、バラ野生種と同様リンゴ野生種においても、野生種間の系統関係に関してはほとんど不明である。近年、様々な植物種でDNAの塩基配列情報、ならびにRFLP解析データをもとに系統関係を明らかにする試み、すなわち遺伝子の表現型ではなく遺伝子型であるgenotypeに基づく分子系統解析が行われている。バラ科植物でも、栽培品種に関してはこの試みが行われているが、栽培品種作出のもとになった野生種に関してはほとんど行われていない。

本研究では、バラ科植物（バラ、リンゴ）の分子系統関係を明らかにする目的で、葉緑体およびミトコンドリアDNAのRFLP解析ならびにmatK領域の塩基配列の決定を行い、系統樹を作製した。また、自家不和合性に関連する遺伝子群ならびにこれらと相同性を有するクローンを用いてリンゴ野生種間の多型を調べた。